

#### ④ 能登＝羽田路線

##### [取組事例]

- 取組類型：旅行商品の造成、二次交通
- 特徴 1：体験型観光等の新たな観光資源の創出とその仕組みづくりに取り組んだ。
- 取組の内容 1：社会活動型観光旅行商品の販売・ツアー催行・利用者助成
- 特徴 2：北陸新幹線開業に伴い増大した金沢周辺の需要を能登地域へ誘導するため、二次交通の確保及び PR を実施し、新幹線との競合状況における連携方策を模索した。
- 取組の内容 2：貸切バス組込型旅行商品助成

##### [路線特性]

- 能登地域は、著しく人口減少・過疎化が進行している。（半島振興法の条件不利地域）
- 主要産業に乏しく、労働就業率が 53.5%と低い等から、地域活性化のためには観光・交流人口の拡大が不可欠であり、航空需要による交流人口確保が必要。
- 就航以来 10 年間、県・市町・経済界等が一体となってあらゆる利用促進に取り組んでおり、航空会社との間で設定した目標搭乗率を達成し、路線を維持しているものの、今後本格化する人口減少等の地域課題に対応した利用者確保策の確立が急務となっている。（従来型アプローチには伸びしろに限界がある。）

##### [取組の実施方法]

- 当該路線における地方航空路線活性化プログラムの位置付けは、従来型の利用促進により下支えを図りつつ、昨今の人口減少等に起因する利用者数の減少分を補填するものである。
- 利用者数の底上げを図るため、地域課題に対応した取組として、新たな航空利用目的の創造の視点から「社会活動型観光プログラムによる新たな航空利用目的の創造」、人口集積エリアからの誘客の視点から「二次交通による域内の主要観光地との連携」を行っている。